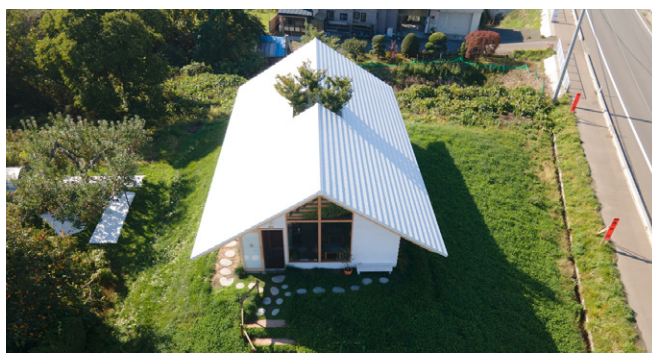


屋根リフォームは 鶴弥の防災瓦で 安心・安全・快適な住まいへ！



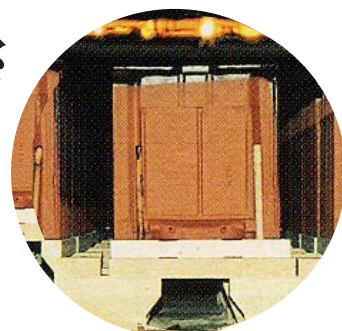
ご存知ですか？ 屋根のこと。粘土瓦のこと。

家と暮らしを守る...屋根って意外と大事なんです。

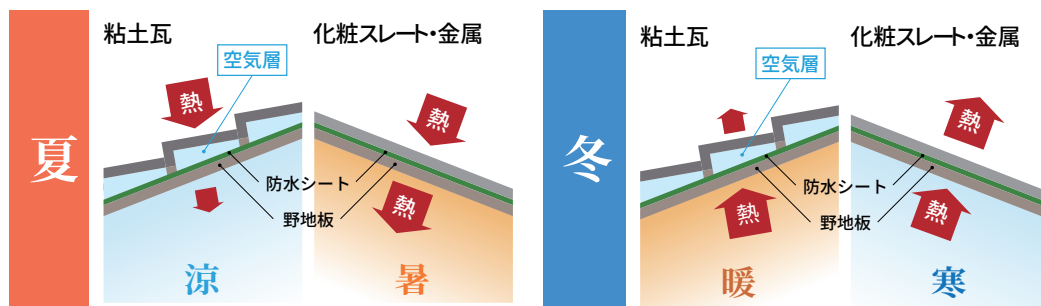
内装にこだわっても意外と屋根まで気がまわらない方が多いのではないのでしょうか？
屋根は風雨から家を守るのはもちろん、音や熱をさえぎり快適な暮らしをもたらすもの。
屋根の性能によって家そのものの耐久性も変わります。

粘土瓦の強さと美しさの秘密

天然素材の柔らかい粘土が1,130℃もの高温の炎でしっかりと焼き締められ、
照りつける夏の日差しにも厳しい冬の寒さにも耐えうる強固な屋根材が創り出されます。
さらに美しい色合いを出す釉薬が同時に表面で熔融しガラス質の膜で覆い、
塗り替えが不要なほどの高い耐候性でその美しい外観と色合いを長期間保ち続ける
ことができる屋根材です。



快適 夏は涼しく冬は暖かく、雨の日も静かな暮らし



粘土瓦は、焼き物特有の高い断熱性を持ちます。また、屋根面と瓦の間にある「空気層」には夏の熱気・冬の冷気を屋内に伝えにくく、冷暖房の効果を外に逃しにくいがあります。また、瓦は遮音性も高く、激しい雨音に悩むこともありません。

お得 美しさ長持ち、塗り替えコスト不要

■ 他屋根材より230万円もお得！
屋根面積100㎡で、メンテナンスコスト・シミュレーションを行いました。

屋根材別／初期コスト	15年	30年	トータルコスト
当社防災瓦 100万円 (約10,000円/㎡として)	瓦表面塗り替えの必要なし ※ 点検 点検		約100万円
化粧スレート・金属 80万円 (約 8,000円/㎡として)	表面塗装 +足場 80万円	葺き替え 140万円	約300万円 (80万+80万+140万)

※ 専門業者による定期点検を10年に1回程度を目安として実施するようにお願いします。
※ 資料：住宅産業協議会より

■ 30年後の屋根材
瓦屋根



メンテナンスが必要な他屋根材



粘土瓦は、お茶碗と同じように釉薬をかけて高温で焼き締めて着色しています。そのため、変色・色落ちが起こりにくく、いつまでも美しい外観を保ちます。これで塗り替えのたびにかかる出費に悩まされることもありません！

～リフォーム施工事例～



日本三大瓦ブランドの一つ 愛知県の三州瓦



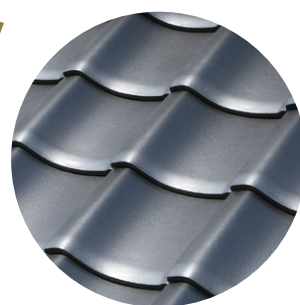
三州瓦(さんしゅうがわら)とは、愛知県西三河地方の旧国名三河を意味する「三州」に由来します。

良質な粘土が豊富にあるこの地域は江戸時代から瓦の産地として有名で、現在では**全国の粘土瓦生産量の約80%を占める**最大産地となっています。

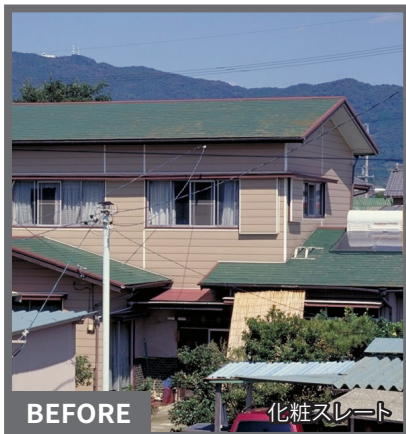
この生産量が、いつの時代も変わらぬ信頼性を証明しています。

また「三州瓦」は特許庁の地域ブランドに第1弾の登録で認定されました。

全国的に有名な粘土瓦は、三州瓦の他に石州瓦(島根県)、淡路瓦(兵庫県)などもあり、それらを総称して三大瓦(日本の瓦の三大産地)と呼んでいます。



～リフォーム施工事例～



創業百余年 実績の鶴弥

鶴弥の瓦は業界内で
生産量・販売量ともに**No.1!**
販売量は三州瓦全体の内、
約3割を占めています!

※2024年度集計

※資料：愛知県陶器瓦工業組合・石州瓦工業組合・淡路瓦工業組合



日本の屋根には、やっぱり瓦！

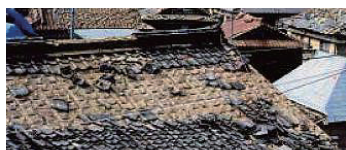
鶴弥の“防災瓦”はココが違います。

瓦の重さは、50年、100年と屋根を守り抜く「責任」の重さです。

耐震性はもちろん、ランニングコストや快適性を考えても、鶴弥の「防災瓦」で決まりです。

これまでの瓦

屋根が重く、
地震時にズレが...

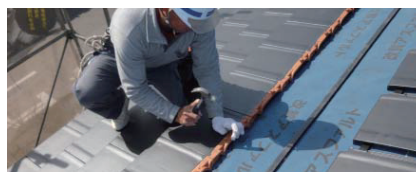


土葺きの古い瓦

鶴弥の防災瓦

土を使わず、屋根重量を
最大60%軽量化

鶴弥の防災瓦にすれば、屋根の重量も土葺き工法の約半分程度に。建物への負荷を大幅に軽減します。

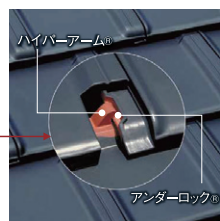
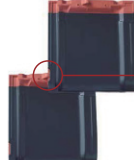


固定不足で瓦が
飛散...



古い非防災瓦

スーパーロック工法で
ズレ・飛散防止



下の瓦のハイパーアームが上の瓦のアンダーロックをがっちりおさえこむ「スーパーロック工法」で、大地震の揺れや台風の強風にも落ちない・飛ばない・崩れない屋根! 鶴弥オリジナルの工法が住まいを守ります。

棟の崩壊...

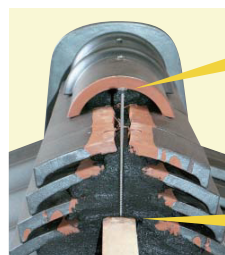


古い施工法

ガイドライン工法で崩壊防止

パッキン付ステンレスねじで棟部をしっかりと固定。科学的実験により実証された、耐震性の高い工法です。

※棟金具仕様は、地域によって仕様が異なります。



パッキン付
ステンレスねじで
しっかり留め付け!

棟金具で垂木を
がっちり固定!

同じ震度でも
屋根の被害に大きな差が...

写真左は2000年以降に建てられた家で、瓦屋根に被害なし。右は旧耐震基準で建てられた家で、屋根の施工方法も古く、瓦のズレや落下が多数見られます。



復興住宅にも鶴弥の瓦

東日本大震災の被災地では、災害公営住宅に多くの瓦が採用されており、その安全性は証明されています。



鶴弥の防災瓦はデザインも豊富です。

純和風をはじめ、シンプルモダンや洋風な住宅、太陽光パネルが設置可能な屋根など、どんなタイプの住まいにもぴったりのお洒落＆高機能な瓦をラインナップしています。

スーパートライ110 シリーズ

防災J形瓦

定番



タイプI

2.0寸～



タイプI Plus

3.0寸～



タイプIII

2.5寸～



スマート

2.5寸～



エース



タイプI[スノーホワイト]



スマート[クールブラック]



タイプ1[ナチュラルイエロー]



エース[銀鱗]

ホームページには、
より多くの施工写真を掲載中



カラーシミュレーションで
実際のイメージを確認



三州瓦 製造・販売

特約店



株式会社 鶴弥

本社 〒475-8528 愛知県半田市州の崎町2番地12

0120-817-268

フリーコール

2025年10月現在